



病院紹介①

COVID-19検査センター

トリアージ検査センターは、病院正面玄関から少し離れた場所にあります。わが国では新型コロナウイルス感染症は5類感染症になりましたが、感染による危険性がなくなったわけではありません。



令和5年6月1日より、無症状の予定入院患者さんは入院前の検査が不要となりましたが、今後も皆様に安心して入院していただけるよう、疑わしい症状が出現した際は、検査を通じて貢献します。

センター奥には抗原定量やPCR検査の機器があり、臨床検査技師が検査を実施しています。どちらもウイルスの存在を調べますが、抗原検査はその蛋白を、PCRはウイルス本体である核酸を調べています。

臨床検査技師は、さまざまな場所で活躍しています。私たちは世界の変化に対応し、皆様に安心安全な医療をお届けします。検査へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

センター長 **矢野 彰三**

病院紹介②

検査部

皆様、こんにちは。検査部についてご説明します。検査部は病院2階に位置し、文字通り検査を実施する部門です。採血室が目につきますが、その奥にさまざまな分析装置があり、多くの臨床検査技師が分析をしています。検査部受付の奥は生理検査室になっており、心電図や呼吸機能検査、超音波検査、脳波など各種の生体機能検査を行っています。検査技師は、素早く正確に検査できるよう日々勉強し、技術を磨いています。

検体検査では血液、尿、喀痰、手術検体や生検で採取した検体などを取り扱います。依頼に応じて、検体の成分や微生物、病理組織、遺伝子等の検査を行います。夜間や休日では当直の検査技師が対応し、緊急の輸血にも準備・貢献しています。



医学の進歩は目覚ましく、これまでになかった新たな検査が次々と開発されてきます。速く、正確に、そして安全に。私たちはよりよい医療を提供できるよう努めて参ります。

部長 **矢野 彰三**

編集後記

気温が少しずつ上昇し、暑い夏が近づいてきました。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

今回は、新しい放射線治療棟が完成したことに伴い、「放射線治療棟」について特集しました。放射線治療は、がん治療の三本柱の一つとして重要視されており、技術革新とともに日々進歩しています。専門家たちが連携し、患者さんに質の高い医療を提供いたしますので、引き続き、島根大学病院の放射線治療にご期待ください。



【編集者より】

島根大学医学部附属病院広報誌

しろうさぎ

についてのお問い合わせ先

(このQRコードで携帯から島根大学病院ホームページが見られます！)

医学部総務課 企画調査係 広報担当

☎ 0853-20-2018

✉ mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

🌐 <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



特集 Special issue 『放射線治療棟』

📎 放射線治療棟完成！

📎 インタビュー

●放射線治療科 准教授 玉置 幸久
●放射線科 教授 梶 靖

Contents

- *Professor ~どんな先生?~
- *ボランティアさんのひとこと
- *まるわかり看護部
- *私のここだけの話
- *トピックス
- *病院紹介

しろうさぎ

S H I R O U S A G I



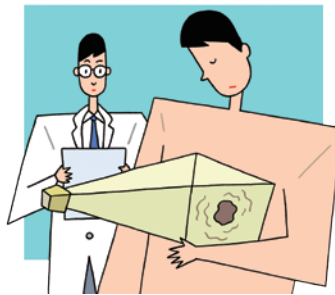
TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください



放射線治療棟完成！

2023年5月稼働

1979年に開設された島根大学医学部附属病院（旧島根医科大学医学部附属病院）では、1980年から高エネルギー棟での放射線治療を開始し、地域のがん診療に貢献していましたが、高エネルギー棟が築40年を超え、老朽化が進んでいました。そこで、今回、放射線治療棟を新営し、最新の放射線設備を整備することとなり、放射線治療棟が新しく生まれ変わりました。



放射線治療棟の概要

建物面積：1,404㎡
主な施設：リニアック室（2室）、CT室、アフターローディング室、深部治療室、治療計画室、診察室（4室）、処置室、待合ホール等



放射線治療装置

Radixact
(ラディザクト)



放射線治療装置

True Beam
(トゥルービーム)



放射線治療計画用CT

Aquilion
(アクイリオン)



放射線治療棟内部



高度な放射線治療の提供と医療人材の育成を目指して

放射線治療科 准教授 **たまき 玉置 幸久**



—放射線治療棟が新設された経緯を教えてください。

当院の放射線治療棟は、1980年に建設された高エネルギー診療棟で行われていましたが、近年は建物の老朽化が進み、また、2台の放射線治療装置についても導入から十数年が経過し、更新の時期を迎えていました。

そこで、放射線治療の更なる高度化に向けて島根大学ビジョン2021に放射線治療施設整備計画が盛り込まれ、文部科学省から国立大学法人等施設整備事業による支援を受けたことで、新たに放射線治療棟を建設することができました。新しい放射線治療棟では放射線の遮蔽壁が厚くなったことで、複雑な高精度放射線治療をより多く行うことが可能となります。

また、放射線治療棟の新設と同時に、2台の高性能の放射線治療装置、ならびに放射線治療計画用CTを導入しました。

—新しく導入した装置はどのようなものですか？

今回、新たに導入した2台の放射線治療装置は、Radixact（ラディザクト）、True Beam（トゥルービーム）です。また治療計画用CTはAquilion（アクイリオン）を導入しました。

Radixactは、トモセラピーシリーズの最上位機種であり、県内唯一の放射線治療装置です。強度変調放射線治療（IMRT）や定位放射線治療（SRT）などの高精度放射線治療を得意としています。また、肺などの動きのある部位の腫瘍に対して、動きを検出し、コンピューターで解析することで、呼吸で動く腫瘍を追いつながら放射線を照射することができます。

True Beamは、汎用性に優れた放射線治療装置で、3種類のX線と5種類の電子線を出し、体表の腫瘍から深部にある腫瘍まで適切な放射線治療を行うことが可能です。

治療計画用CTであるAquilionは、放射線治療計画を策定するために必要な画像を撮影する装置です。90cmの開口径となっており、実際の照射の際の体位に合わせた様々な体位で撮影することができます。また、従来の放射線治療計画用CTは、体内に金属があると、金属アー

チファクトという影響により、正確に線量を計算することなどが難しかったのですが、今回の装置には金属アーチファクト低減機能が搭載されているため、より効果的な治療計画を立てることができるようになりました。

—放射線治療棟が新設されたことは、山陰の医療にとってどのような意義がありますか？

治療の質が上がるのはもちろんのこと、高機能の装置が導入されたことで、島根県でも若手医師に高度な放射線治療研修体制を提供することができるようになりました。素晴らしい放射線治療装置があっても、それを使いこなす優秀な放射線治療専門医がいなければ、効果を発揮することができません。島根県には放射線治療専門医が9名しかいないため、専門医の育成にも力を注いでいきたいです。

—放射線治療を考えている方へメッセージをお願いします。

放射線治療棟新設と新たな放射線治療装置の導入により、複雑な放射線治療を精密に行うことができるようになり、これまで治療を受けられなかった患者さんの治療が行えるようになりました。また、高性能の放射線治療を受けるために県外へ行って治療をされていた患者さんも、島根県で治療をお受けいただくことができるようになりました。

放射線治療科では患者さんやご家族の気持ちに寄り添いながら、より良いがん治療と一緒に考えていきます。

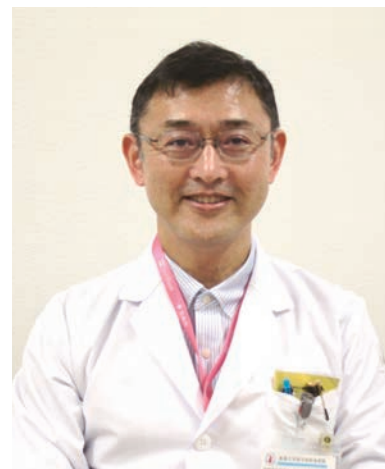
今回導入された高性能の放射線治療装置を駆使し、ハード面とソフト面の双方から、患者さんやご家族の皆様に質が高く、心のこもった高水準の放射線治療を提供いたします。



最新の技術を応用し、適切な医療を提供します

放射線科 教授 **かじ 楯**

やすし 靖



—放射線治療新設に伴い新たな装置が導入されたことにより、どのような治療ができるようになりましたか？

新しく導入された放射線治療装置により、これまでに比べて精度の高い放射線治療が可能となります。従来の方法だと、がんの存在部位や大きさがわかっていたとしても、治療時に呼吸などで患者さんの体が動くとがんも動くため、がんの近くにある正常な組織の部分にも放射線が当たってしまいます。今回導入した新しい装置を用いると、患者さんの動きに合わせて正確にがん細胞へ放射線を当てることができるので、がんの周囲の正常な組織にあたる放射線量をこれまでよりも低く抑え、副作用を少なくすることが可能です。RadixactとTrue Beamの2台の放射線治療装置の特徴を活かして、体により優しい放射線治療ができるようになりました。

—放射線治療の対象となる病気はどのようなものがありますか？

咽頭がん、食道がん、乳がん、肺がん、子宮頸がん、前立腺がん、悪性リンパ腫など全身の様々ながんが放射線治療の対象となりますが、どの臓器にできたどのような細胞から構成されるがんか、どこまで広がっているかによって放射線治療の効果は異なります。脳や骨にがんが転移した場合も放射線治療が行われます。

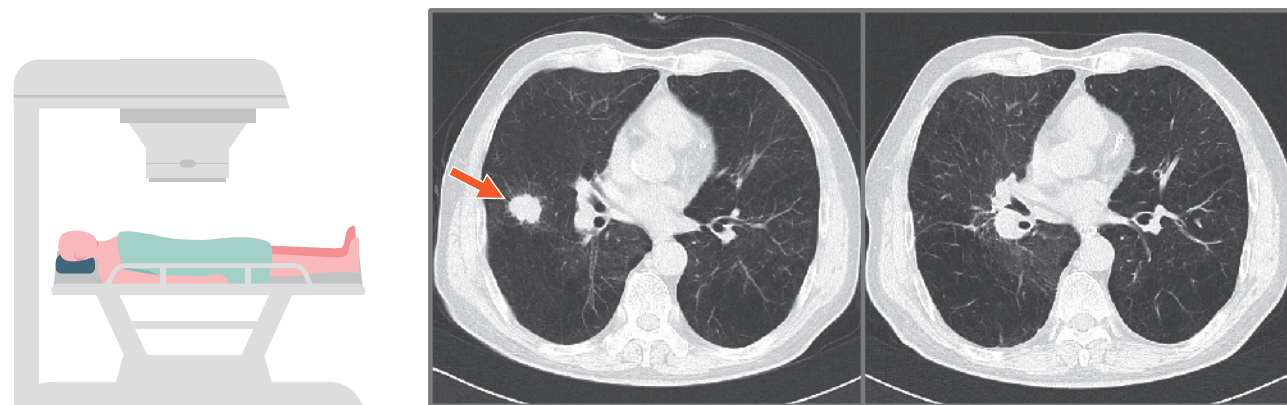
また、本来であれば手術（外科治療）による治療が適

しているがんでも、がんの部分を取り除くことで正常な機能が大きく損なわれてしまう場合や、心臓の働きが悪くて手術ができない場合もあります。患者さんの体の状況を踏まえて手術ではなく放射線治療を選択することもあります。

写真左は肺がんのCT画像で、矢印で指している白い塊ががんです。手術で取れそうですが、周りの肺や反対側の肺をみると健康な方の肺に比べて肺の組織がスカスカの状態であり、肺気腫と考えられます。手術でがんをとることは難しいと考えられ、放射線治療を行いました。写真右が放射線治療後に撮影したCT画像で、がんの白いかたまりが消えています。

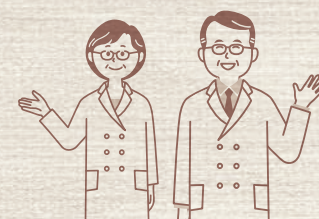
—今後の展望について教えてください。

放射線治療棟が新設されたことにより、これまで以上に高精度な放射線治療が可能となりますが、適切な放射線治療を行うためには、がんがどこまで広がっているかを正確に把握せねばなりません。これは我々放射線診断医の役目です。当院の放射線部にあるMRI、CT、PET/CTなど最新の画像診断装置を用いて調べたがんの広がりや性質に関する情報を、診療科の先生や放射線治療を行う先生と共有することで、患者さんへより適切な医療の提供をしていきたいと思っています。



治療前

放射線治療後



Professor ～どんな先生？～

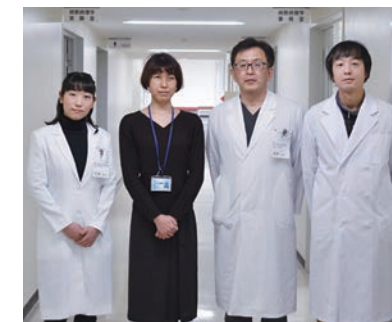
島根大学病院に所属する教授の人柄、専門分野などを紹介するコーナーです。

病態病理学教授に就任して

病理学講座(病態病理学) 教授 **にい の だいすけ 新野 大介**

令和4年8月1日付けで島根大学医学部病理学講座(病態病理学)の教授となりました新野大介です。福岡市出身で長崎大学医学部を卒業しました。大学院卒業後、久留米大学病理学教室で血液病理の診断と研究を行い、長崎病理医育成・診断センターの教授となり病理医の育成を行いました。その後、佐世保市総合医療センター、産業医科大学病理学教室の准教授を経て、出雲にやって参りました。病理学講座(病態病理学)では大学病院や関連病院の病理診断と教育、血液病理の臨床研

究を行うつもりです。現在、島根県内の病理医は不足しており、病理医の育成が急務であります。医学部生、研修医に病理医の魅力を伝え、体験してもらい、病理専門医を増やしていくつもりです。今後、島根大学医学部、島根県内の病理を発展させ、島根県の医療に貢献していきたいと思っています。



右から2番目が新野教授

分かりにくい病気を分かりやすく ～膠原病・関節リウマチってどんな病気？～

膠原病内科 教授 **いちのせ くにひろ 一瀬 邦弘**



この度、令和4年11月1日付けで島根大学医学部附属病院膠原病内科の初代教授を拝命致しました、一瀬邦弘と申します。この場をお借りして、皆様へご挨拶を申し上げます。

膠原病や関節リウマチは「免疫」の異常によって引き起こされる病気で、若い方からお年寄りまで幅広い年代に起こり得る疾患です。しかしながら、患者さんにとって分かりづらい病気の一つではないでしょうか。

私たちの体には、異物から守るための免疫という生体防御反応があります。本来は自己と異物を正確に区別できますが、何らかの原因で自分の体の成分を異物と認識

するリンパ球ができると、抗体が産生されます。その結果、膠原病や関節リウマチが起こることがあります。免疫応答には炎症が伴うため、発熱や痛み、皮疹、全身のだるさ、食欲が落ちるなどの全身の症状が現れます。さらに、炎症は組織にダメージを引き起こしますが、重要な臓器に波及すると不可逆的で致命的な臓器不全になる可能性があります。

膠原病や関節リウマチは、原因が一つではなく、症状や臓器障害が多様で、ゆっくり発症するため、早期に確実な診断が困難です。近年、病気の起こる仕組みが解明されて、様々な新しい治療薬が開発されています。私たち膠原病内科は島根県の膠原病・リウマチ診療の屋台骨として、患者さんの健康をお支えしてまいります。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

ボランティアさんのひとこと 「笑顔あふれる場所を目指して」

病院ボランティア **北野 康子**さんより

入院中の患者さんに、明るく笑顔で過ごしてほしいという思いを胸に、ボランティアを始めて約4年になりました。小児病棟の壁面を飾る季節の掲示物やがん患者さんへのタオル帽子を作っており、患者さんが喜んでくださっていると聞いて、嬉しく思うと共に、一つ一つの命はとても大切なものだ実感する日々です。

病院という閉ざされた環境でも、季節ごとに彩られた壁面を見ることで、四季の移り変わりを感じて、少しでも笑顔になれるような空間を提供できれば幸いです。



季節ごとに壁面を彩る北野さんの掲示物



B病棟7階・外科外来 看護師長 小川 雅子

B病棟7階は、消化器外科、肝胆脾外科、乳腺外科、高度外傷センターの病棟です。患者さんの多くは手術治療を目的に入院をされます。術前の検査や手術に伴う不安や疑問をお伺いし、安心して手術を受けて頂けるよう、患者さんやご家族に丁寧な情報提供を心掛けています。また手術後は傷の痛みを緩和し、肺炎等の合併症予防や離床に向けた援助を行っています。病気や事故により急な入院生活を余儀なくされる患者さんやご家族にも寄り添い、安心で安全な療養環境の提供を目指しています。

入退院管理センター 看護師長 竹下 純子

入退院管理センターの看護師は、病院正面玄関ホールでの外来受診の患者さんやご家族への対応や入院前の問診および入院病床の調整を担当しています。

病院正面玄関ホールでは、困りごとの対応や移動にお手伝いが必要な患者さんの介助、体調が悪くなられた患者さんの初期対応などを行っています。

問診ルームでは、入院が決定した患者さん

島根大学病院看護部は、30以上もの部署があります。それぞれの部署はどのような役割を担っているのでしょうか。このコーナーでは、当院看護部についてまるっとお届けします。



昨年より外科外来と病棟が一元化となり、病棟看護師が入院前・入院中・退院後に関わることができるようになりました。外来と病棟がさらに連携することで切れ目のない看護が提供でき、ケアの充実が図れています。外来で退院後の様子をお聞きし、元気な姿をお見かけできることが、私達のやりがいや励みにもつながっています。

及びご家族に、お体の様子や身の回りのこと、気がかりなことなど日常生活を含めてのお話を伺い、少しでも安心して入院生活を送ることができるように、入院病棟・栄養士・医療ソーシャルワーカーなど多職種と連携しています。

入院病床担当は、患者さんのご希望や日常生活の介助の量などに応じて、病棟と相談しながら病床を調整しています。

入退院管理センターでは、様々な役割を通じて外来や病棟などと連携し、患者さんが安心して入院生活を送ることができるように取り組んでいます。



私のここだけの話

「変わった趣味？」

高齢者と言われる歳になって早2年、7月には67歳になってしまいます。そんなオヤジの趣味と言えるかどうか?やり始めたことがあります。

それはトマトとバジルの水耕栽培です。未体験領域にネット情報だけで果敢に挑戦!?元々人と同じ事をやるのが面白くない性分で土に植えるのでは満足できず、水だけでトマトの巨大な木みたいなのを作ってみたいと挑戦を始めました。

数年前に作った裏庭の石窯で我が家産のトマトとバジルを使ったピザを焼きたくて…

やってはみたものの、昨シーズンまでは小さめのトマト数個が収穫できただけで、バジルは取れ無く失敗しました。

今度こそはと今年も挑戦中ですが、このしろうさがが発行される頃にはそれなりの結果が見えてきていると思います。

何とか今年こそ成功させたいと思っているんですが…?



しろうさぎ編集委員会 外部アドバイザー まつうら しんじ
松浦 眞司



今日の病院食



島大病院の病院食を担当している会社に、ベトナムより技能実習生が来日しています。今回は、実習生のレ・トゥイ・グエット・ジエムさんが考案し、島大病院の病院食として提供したベトナム料理についてご紹介いただきました。

こんにちは。ベトナムから来たジエムです。日本で調理技術の勉強をし、今年で3年目になりました。

私はベトナム南部出身で、今回病院食として提供したベトナム料理は、ベトナム南部で1番有名な料理の「コムタム」です。「コムタム」はごはんの上に甘辛い豚肉の炭火焼き「スーンヌーン」や目玉焼きなどを乗せたワンプレート料理のことで、付け合わせにトマトやきゅうり、なますが付きまします。ベトナム式の美味しい食べ方としては、すべての具材にタレを混ぜ合わせてお召し上がりいただくのがおすすめです。

入院患者さんの状態に合わせ、軟菜食にはなますに使用している大根をやわらかい白菜に変更しています。試作段階ではたれの中ににんにくを入れていましたが、刺激物を避け、より日本人の皆さんに馴染み深い味の味にするためににんにくや唐辛子を入れることを控えるなど、病院の栄養治療室の職員の皆さんと一緒に栄養のことを踏まえながら、様々な工夫をして「コムタム」を作りました。また、日本人が塩や醤油をよく使うように、ベトナム人は毎日「ヌクナム」（ナンプラー・魚醤）を料理に使用します。ベトナム人がどのような調味料を使っているのか紹介したいと思い、特製のタレに魚醤を使用しています。

病院食に普段とは異なる外国の料理を取り入れることで、入院患者さんにとって食事の時間が入院中の楽しみの一つになれば嬉しく思います。



技能実習生
レ・トゥイ・
グエット・ジエムさん

ベトナム料理 “コムタム” を使った病院食



材料 (2人分)

- ごはん……………400g (茶碗2杯分)
- ねぎ……………適量
- 油……………適量
- コムタム
 - 豚肉 (かたまり肉) ……60g×2枚
 - 油……………適量
 - 調味料A
 - オイスターソース……………10g
 - 水……………10ml
 - しょうゆ……………5g
 - 砂糖……………5g
 - おろしにんにく……………2g
- 目玉焼き
 - たまご……………2個
 - 油……………適宜
- 酢の物
 - 大根……………120g
 - 人参……………20g
 - 塩……………適宜
 - 調味料B
 - 水……………20ml
 - 酢……………8g
 - 砂糖……………15g
- トマト……………60g
- きゅうり……………40g
- 特製たれ
 - 調味料C
 - ヌクナム(ナンプラー)……………10g
 - 砂糖……………10g
 - 水……………10ml
 - レモン果汁……………1.6g
- マンゴー (※デザート)

作り方

- 1 フライパンに油を入れ、切ったねぎを加えて、焦がさないように加熱する。
- 2 目玉焼きをつくる。
- 3 コムタムをつくる：調味料Aに豚肉を15～20分つけて、油をひいたフライパンで焼く。(※下味をつけているので焦げやすくなります。焦がさないように気をつけてください)
- 4 酢の物は大き根と人参を短冊切りにして塩もみをして、しばらくおいた後、よく絞り、調味料Bを加え、15分ぐらいおいておく。
- 5 トマトはくし切り、きゅうりは斜めに切っておく。
- 6 皿にごはんを盛り、1～5をそれぞれ盛り付ける。
- 7 特製タレを作る。調味料Cをよく混ぜ合わせる。

※たれにお好みでみじん切りにしたにんにくを入れてもおいしくいただけます。



お話を拝聴後試食させていただきました! 特製のタレがそれぞれの具材の美味しさを引き立てるアクセントになっており、ベトナム料理の味を堪能しました (編集者)

